

■コメント

1. 手足口病

定点当たり3.88人の報告があり、多い状況が続いています。

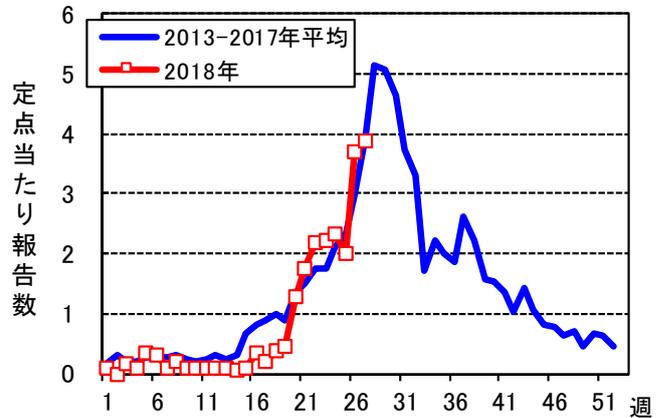
手足口病の感染経路は、飛沫感染、接触感染、便の中に排泄されたウイルスによる経口感染が知られています。特に、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育園や幼稚園などでは、注意が必要です。

感染予防対策として、手洗いをしっかりとすること、排泄物を適切に処理すること、タオルの共有を避けることなどが大切です。

2. 梅毒

3件の報告があり、今年の累計は59件となりました。(次頁参照)

手足口病の流行状況



【参考】厚生労働省「手足口病に関するQ&A」  
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekakukansenshou19/hfmd.html>

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィルン	インフルエンザ	-	-	0.01		小児科	流行性耳下腺炎	6	0.25	0.79	
小児科	咽頭結膜熱	17	0.71	0.87	↗	小児科	RSウイルス感染症	18	0.75	0.14	↘
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	61	2.54	2.28	↔		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05
	感染性胃腸炎	81	3.38	5.55	↘	眼科		流行性角結膜炎	12	1.50	0.95
	水痘	7	0.29	0.63			基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.11
	手足口病	93	3.88	3.94	↔	無菌性髄膜炎		-	-	0.06	
	伝染性紅斑	2	0.08	0.35		マイコプラズマ肺炎		-	-	0.12	
	突発性発しん	7	0.29	0.58		クラミジア肺炎(オウム病を除く)		-	-	-	
	ヘルパンギーナ	43	1.79	1.73	↘	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	72	男性(40歳代)
4	E型肝炎	1	1	男性(70歳代)
5	梅毒	3	59	女性(20歳代)、男性(30歳代)、女性(40歳代)

## ■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス) 感染性胃腸炎	
			第23週	1	18	80	155	1	53	1	6	43	5	8	2	17	-	-	-	-	-
第24週	-	27	62	125	10	56	-	8	34	3	10	-	13	-	-	-	-	-	-	-	
第25週	-	12	83	115	9	48	-	9	30	5	10	-	9	-	-	-	-	-	-	-	
第26週	-	13	60	139	7	89	1	6	33	3	24	6	5	-	-	-	-	-	-	-	
第27週	-	17	61	81	7	93	2	7	43	6	18	-	12	-	-	-	-	-	-	-	
定点当たり	広島市	第23週	0.03	0.75	3.33	6.46	0.04	2.21	0.04	0.25	1.79	0.21	0.33	0.25	2.13	-	-	-	-	-	-
		第24週	-	1.13	2.58	5.21	0.42	2.33	-	0.33	1.42	0.13	0.42	-	1.63	-	-	-	-	-	-
		第25週	-	0.50	3.46	4.79	0.38	2.00	-	0.38	1.25	0.21	0.42	-	1.13	-	-	-	-	-	-
		第26週	-	0.54	2.50	5.79	0.29	3.71	0.04	0.25	1.38	0.13	1.00	0.75	0.63	-	-	-	-	-	-
		第27週	-	0.71	2.54	3.38	0.29	3.88	0.08	0.29	1.79	0.25	0.75	-	1.50	-	-	-	-	-	-
		第26週	0.09	0.79	2.89	6.07	0.39	1.24	0.35	0.54	0.64	0.19	0.36	0.03	0.93	0.02	0.04	0.13	-	-	-
全国	第25週	0.09	0.76	2.64	5.73	0.36	1.60	0.40	0.56	1.00	0.20	0.39	0.02	0.95	0.03	0.04	0.23	0.01	-	0.04	

\* 百日咳は、2018年1月1日から5類感染症(全数把握疾患)に変更になりました。

## ■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
手足口病	発熱(38.8)	0	男	2018/05/26	咽頭拭い液	エンテロウイルス71型
流行性角結膜炎	角結膜炎 結膜充血	37	女	2018/05/14	結膜擦過物	アデノウイルス3型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.3) 上気道炎 鼻炎	0	男	2018/05/18	咽頭拭い液	RSウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 細気管支炎	1	男	2018/05/23	鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 肺炎	0	女	2018/05/28	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型 ヒトホカウイルス
その他の呼吸器疾患	気管支炎	2	男	2018/05/29	鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0) 咽頭炎 肺炎 鼻炎	1	女	2018/05/29	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型 <i>Streptococcus pneumoniae</i>

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

## 【参考】広島市における梅毒検査について

近年、梅毒の患者数が全国的に増加しています。広島市においても、今年の累計報告数が59件(昨年同時期の約2.1倍)となり、過去最多だった昨年(62件)を上回るペースで増加しています。検査や治療が遅れたり、治療せずに放置したりすると、長期間の経過で脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。梅毒に感染したおそれのある方は、早期に医療機関を受診しましょう。

保健センターでは、次の条件を満たす方について、無料の梅毒検査を行っています。

★無料検査の対象者((1)と(2)の両方を満たす方)

(1)広島市に住所を有する方又は広島市内に通勤、通学する方

(2)梅毒に感染したおそれのある方

検査は予約制です。予め、検査を希望される保健センターに電話で予約してください。

※検査の予約、実施場所、日時、検査内容等について、詳しくは広島市のホームページからご確認ください。

「梅毒検査について」 <http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1519965289997/index.html>

【問い合わせ先】 健康福祉局 保健部 健康推進課 (電話:082-504-2622)

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail [ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp](mailto:ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp)